



2005.10.31

民主党プレス民主編集部
〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話 03-3595-9988(代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp
民主党愛知県総支部連合会
名古屋市東区泉1-12-34
セントラルアベニュー1223 9F
電話 052-951-7881



[愛知県連・刷新プロジェクトチーム党本部へ申し入れ](#) / [県連政策調査会「ポスト万博勉強会」/2期ジャパン・リーダーズカレッジ第4回講座](#) / [部落解放研究第39回全国集会を開催!!](#) / [民主党愛知県連・所属議員の活動報告](#) / [幹事会報告](#) / [インフォメーション](#) / [編集後記](#)

愛知県連・刷新プロジェクトチーム党本部へ申し入れ

10月7日(金)、党本部役員室にて愛知県連刷新プロジェクトチームが申し入れを行った。県連からは近藤昭一代表代行、松山登幹事長、片桐清高総務局長、古川元久衆議院議員が出席、党本部は鳩山由紀夫幹事長、玄葉光一郎幹事長代理が出席して行われた。申し入れ内容としては下記の項目となった。

1. 県連と総支部のあり方について
2. 候補者選定における民主的な決定手順の推進
3. 現職議員および内定候補者の公認推薦手順の再考
4. 決定された候補者および当選後の議員へのサポートづくり
5. 有権者による党運営のあり方等、諮問機関の設置

翌日の8日(土)には記者会見を開き、県連として刷新プロジェクトチームの答申を発表した。

▲
[top](#)

県連政策調査会「ポスト万博勉強会」

10月8日17:30より県連会議室にて政策調査会(会長＝前田雄吉衆議院議員)が「ポスト万

博勉強会」を行った。参加メンバーは前田雄吉会長、富田昭雄副会長、と委員の森井元久氏、華地山義章氏、梶田晃男氏、千賀重安氏。

これまでNPO、官僚、民間シンクタンク、企業と各分野から講師を招いて行われた学習会を今後数回の勉強会でまとめあげ、民主党愛知県連「ローカルマニフェスト」を作成することとなった。第1回目の勉強会では、前田会長と森井委員より素案の提案があった。今後は両案を一本化し、県議・名古屋市議団に意見集約を行い、県連幹事会に最終素案を提出する予定。



2期ジャパン・リーダーズカレッジ第4回講座

10月15日(土)13:00よりアイリス愛知にて第4回講座を開催。講師に村尾信尚氏(関西学院大学教授)を招き、「～「行政」を変える～」と題して行われた。

大蔵省時代に三重県に総務部長として出向し、当時の北川正恭三重県知事と出会い、県行政の大改革に携わったことなどを交えながら、人口スカスカ列島(今後100年で1億2000万人から6000万人へ減少)、財政はタイタニック(債務残高774兆円)などを述べ、「官主導の行政でなくこの国を変えるのは市民」と最後は締めくくった。

第5回JLCは11月26日アイリス愛知にて清水哲太氏(トヨタホーム代表取締役会長)を迎え、「職場のリーダーになれる社員、されない社員(仮)」と題して行われる予定。

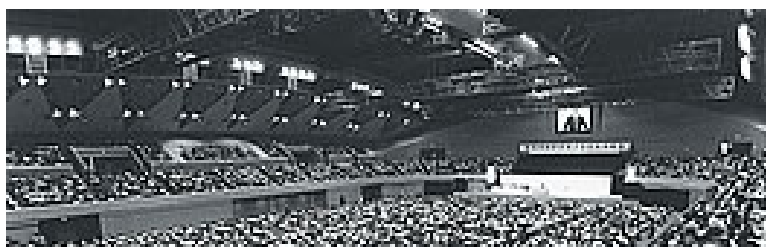


講演を行う村尾信尚氏



部落解放研究第39回全国集会を開催!!

9月30日(金)から10月2日(日)の3日間、和歌山県和歌山市のビッグホールなど数箇所で「平和と人権を守り、あらゆる差別の撤廃をめざして、部落解放・人権政策確立の取り組み



をすすめよう」をテーマに全国集会が行われ約8200人が参加した。参加者は全国の自治体関係、労働組合、共闘会議などさまざま。

初日は全体集会として「人権時代の自治体行政」をテーマに木村良樹氏(和歌山県知事)を迎え行われ、和歌山県の現状と人権行政への取り組みを述べ、最後に「分権型の社会を目指していく」と締めくくった。つづいて谷本昭信氏(部落解放同盟中央本部書記次長)が「これからの解放運動と同和行政のあり方」と題し、公務のため欠席となった松岡徹氏(中央本部書記長)の代役を務め、「戦後の部落解放委員会活動と部落解放同盟への改組」、「人権の法制度確立にむけた取り組み方向―人権侵害救済法の制定にむけて―」などを述べた。

2日目は「入門講座Ⅰ 部落問題・人権問題入門」「部落史と解放運動史の課題」「人権侵害救済の法制度確立にむけた課題」「今後の人権・同和行政の展望と課題」「人権啓発活動の課題」「反差別国際連帯の課題」など12の分科会と「一向一揆とまちづくり運動」、「西光万吉と岡本弥」など3コースのフィールドワークを行った。

分科会「入門講座Ⅱ 時事問題」は県民文化会館で開催、「若者を取り巻く構造的な困難と、その支援の方向性」(講師:宮本みち子放送大学教授)、「児童虐待の現状と改正児童虐待防止法」(西澤哲大阪大学大学院講師)、「労働者の個人情報保護について」(竹地潔富山大学教授)がそれぞれ講演を行った。

子どもの虐待については、さまざまなタイプの虐待と最近の傾向を述べ、現在の課題として、「施設ケアの改善、児童相談所のケアワーカーの大増員(米国は一人あたりの担当数12人まで、日本は50人から200人前後まで担当しているためキメ細かいケアが不可能)、親への援助のあり方(病理的な親への援助、多様な援助メニューの整備)、性的虐待の増加への対応(ケア・治療プログラム)」など力強く語った。

最後に西澤哲氏は「行政、国政の中で提起してきましたが、次世代への育成として子ども虐待の問題は皆さんと共にがんばって解決していきたい。」と締めくくった。

最終日3日目は全体集会に戻り、崔鳳泰(チェボンデ)氏(韓国・日帝強占下強制動員被害真相糾明委員会事務局長)を講師に「歴史の真実に誠実に向き合うとは」、横田洋三氏(中央大学法科大学院教授、国連人権総小委員会委員)を講師に「国連と人権、そして日本の役割」、最後に市川訓敏氏(関西大学教授)を向かえ「和歌山の部落史の可能性―人権文化創造のための歩み」をそれぞれ講演し閉会となった。

来年度は9月30日から3日間、熊本県で行われる予定。

民主党愛知県連・所属議員の活動報告

23年間マスコミの世界で生きてきて、一貫してきたことは「低い目線」「問題意識」、そして何にでも「好奇心」をもつことです。この3つの私の根幹は、県政に携わるようになってから、より強く私の基本コンセプトとなっています。温泉ブームの中での温泉枯渇に関わる問題、心停止患者の救命救急、そして動物同伴可能な飲食店の営業許可申請のあり方など、県議会で積極的に一般質問もしてきました。そして、一年前に超党派女性愛知県議5人で結成した「ウィンディ」の一員として、女性を取り巻くさまざまな問題・環境にも取り組んでいきたいと思っています。



高橋 正子

愛知県議会議員
(一宮市および
葉栗郡選出)

住所:一宮市大宮
一丁目3-6-102

電話:0586-71-2900

皆さまのご支援をいただき、昭和58年から春日井市議会議員を5期20年間つとめました。現在は、県議会で県議団の総務会長を仰せつかっております。さて、日本の総人口は2006年をピークに、全国で年間約50万人以上ずつ減少する時代に入り、45年後の2050年には超高齢社会で、総人口も8千8百万人に減少するとの推計も出ております。そこで今年6月の愛知県議会での代表質問の一部をご報告します。本県の人口減少への対応は、長期的・広域的に県政全般の大幅な見直しが必要と考えるが「新しい政策指針づくり」にどのように反映するのか、知事の認識を問いました。皆様のご健勝を祈ります。



金澤 利夫

愛知県議会議員
(春日井市選出)

住所:春日井市中央台
7-11-11

電話:0568-92-0855

日頃のご支援に対し心よりお礼申し上げます。名古屋市議会に議席を得て8年が過ぎました。初心を忘れることなく、常に女性・母親・生活者の視点で、市政改革に取り組んでおります。英語教育の改革を地方からとの思いから、平成11年に始まった名古屋市の小学校英語活動では、カリキュラムの作成から講師の人選まで任せていただき、オ

ールイングリッシュの授業はおかげさまで大変好評をいただいております。ひきつづき「英語が話せるなごやっ子」の実現を目指してまいります。財政のたいへん厳しい名古屋市ですが、必要な福祉が安易に切り捨てられることのないよう行政の無駄遣いを厳しくチェックしていきます。



梅村麻美子

名古屋市議員
(東区選出)

住所:名古屋市東区
出来町3-19-5

電話:052-722-5551

名古屋市議員として初当選以来、早いもので10年が過ぎました。当時初めて計画された城北病院の移転が、現在、クオリティライフ211城北構想として、基本設計から実施設計へ入ろうとしています。私も健康福祉委員会の委員として大いに、議論を深めています。又、本年度は議会選出の名古屋市監査委員として、平成16年度の決算案を、9月定例会に上程したところです。この他にも名古屋市の様々な分野に於いて監査の任務は多義に亘り、市議員としての経験、知識を発揮することができ、全力を傾けて本市の発展に役立つよう頑張っております。



吉田 隆一

名古屋市議員
(北区選出)

住所:名古屋市北区
杉村1-20-8

電話:052-912-5140

皆様の暖かいご支援で豊田市議会に送りいただき3年目を向かえました。4月1日に近隣の6町村と合併し広大な「豊田市」が誕生しました。面積の70%が森林であり日本の縮図とも言えます。この広大な山林をいかに有効利用するか、また、工業と農山村の共生のまちづくりをどう行うかなど合併による課題や、超高齢社会、小子化への対応、行政改革など課題は山積みであります。

納税者の視点、市民の視点にたった施策こそ歓迎されるものであると確信しています。様々な諸課題に対し同僚議員と共に全力で取り組む決意です。



庄司 章

豊田市議員

住所:豊田市高岡新
町天王1

電話:0565-57-1306

近年は、社会経済情勢の変化が著しく、これに伴って行政需要も複雑多様化してきております。今地方は、少子高齢化、環境問題、地方分権、防

災対策など、さまざまな課題に直面しており、さらに、国、地方を通じた行財政改革が「三位一体の改革」として実施され、地方にとっては大変厳しい状況となっております。来年2月1日に豊川市は宝飯郡一宮町と合併し、新たに人口13万7千人の『新豊川市』が誕生します。

私も市議会議員となり早いもので2年が経過しました。2年間で振り返って反省すべきところは反省し、議員3年目として昨年よりさらにパワーアップして頑張りたいと思います。今年度、豊川市議会では、総務副委員長として、党では14区総支部幹事長としてさらに研究活動をして参ります。



鈴木 彰伯

豊川市会議員

住所:豊川市麻生田
町寺前21-1

電話:0533-83-8777



■幹事会報告(10月8日抜粋)

■刷新プロジェクトチーム答申(案)について

前回幹事会(第9回)での意見を踏まえ、追加・修正提案

1. 県連の位置づけと権限、および総支部との関係・体制について
2. 各議員団の位置づけ、権限について

■政治資金パーティー「2006刷新のつどい」について

日時 2006年1月17日(火)18:00～

会場 ウェスティンナゴヤ・キャッスル 2F「天守の間」

■連合愛知「政策推進議員懇談会」発足について

従来組織内議員懇談会を発展的に解散・再集結する
発足総会予定

日時 12月10日(土)14:15～

会場 ホテルキャッスルプラザ

* 組織内議員懇談会第15回(解散)総会を13:30から開催

■インフォメーション

■県議会補欠選挙(知多市)結果

9月25日(日)執行、投票率45.33%

◇勝崎泰生 53歳(自民公認)15,302票 当選

◇古俣泰浩 45歳(民主公認)14,042票 次点

■知多市長選挙結果

9月25日(日)執行、投票率45.63%

◇加藤 功 64歳(民主推薦) 21,953票 当選

◇黒川親治 63歳(共産推薦) 7,609票 次点

■部落解放愛知県共闘会議第30回総会

日時 11月8日(火)18:15～

会場 アビタンホール2F

名古屋市熱田区金山町1-12-7

内容 総会後の記念講演 テーマ「住民基本台帳について」

編集後記

総選挙も終り、民主党愛知県連の「次」にむけての活動をお知らせする十月号が出来上りました。

今回の選挙結果でよくわかったことは、あたりまえのことながら、「地域に根ざした日常活動がいかに大切か」ということだったと思います。各地区で、市民と共に活動する民主党の姿を紙面にどれだけご紹介できるかーこれが今後の広報の大切な点だと思えます。ご意見、ご協力をお待ちしております。



広報委員長 梅村邦子(名古屋市議員)

インターネット・アドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~minshu7/>
e-mail: minshu@dream.ocn.ne.jp

[▲
top](#)